

第2学年で取り組んだ総合的な学習の記録 資料

第一学年 小 泉 薫・宮 本 乙 女・上 沼 治 美・前 川 哲 也

I はじめに

本レポートは、本校における総合的な学習（総合Ⅰ学年でとり組む総合的な学習，総合Ⅱ自主研究）のうち，総合Ⅰについての報告である。1年次からスタートした活動「どうする日本」^{※1)}の経験を生かし，より，生徒の手による活動になるように，と進めた第2学年での活動記録である。ただし，今回取り組んだ単元は，2年生の10月から3年生の6月にわたるものであり，ここでは，3年5月までに進んだ所までの内容を，主に使用した資料を時系列に示すことで，報告する。

II 活動の方針と学習計画

1. 活動方針

1年次に，小グループで，目的を持ったプロジェクト的な活動を体験し，また，自主研究での学習も通じて研究法などを学んできた。昨年プロジェクト活動に関しては，その大まかな進行を教員の方が丁寧に行ってきた。活動の単位である3～7人のチームがいつもだいたい同じようなペースで進むように配慮した。

しかし，今年度は，活動開始前の担任会でブレインストーミングなどを使いながら3回ほど検討した結果，次のような方針を立てて臨んだ。

- ① 今年も昨年の活動経験を生かして常にゴールと自分の立ち位置を意識するようなプロジェクト活動を行う。
- ② 今年は，活動計画などを生徒の手にもう少しゆだねていく。
- ③ 一斉に進めることなく個々の活動に応じた計画や内容をバックアップする。
- ④ 生徒の視野を広げるため，単なる生徒の希望だけでなく，プロフェッショナルな人材との交流を図る。
- ⑤ 活動単位は，2～4人とし，より一人ひとりの責任と関わりの深さを求める。
- ⑥ 多文化教育の視点を意識していく。「皆違って当然」とそれぞれの「ちがひ」を前提としてお互いの理解を図り，差別や偏見をなくし公正で平等な生き方を学び，そして，社

会に働きかけられる力をつけよう。

- 1) 自分との共生・・・自分（自国）をもっと知ろう
- 2) 人との共生・・・様々な違いを見つけ、その違いを認め合い、おたがいを理解し、共に生きる社会を作ろうと行動できる力を身につけよう
- 3) 環境との共生・・・身近な環境や世界の環境、広い視野から環境との共生を考えて、行動できる力を身につけよう

2. 学習計画

次表は、学習の実践である。それぞれの学習の間の放課後には、係と担当教員による、活動の企画や準備などが行われた。また、各講師とのミーティングや、接待、生徒の感想をお礼状とともに送ることなども係が行った。

月日	曜	内 容	時
11月18日	火	本校の総合的な学習ガイダンス，一年次の活動の振り返り，希望調査	1
12月9日	火	講演「最後まで自分らしく」秋山正子さん。在宅ホスピスケア意見交換	2
12月16日	火	講演「アジア太平洋地域の環境問題」佐藤真久さん。意見交換	2
1月20日	火	講演「国際貢献と幼児教育」前田美智子さん。JAICA 意見交換	2
1月27日	火	1年次の総合の冊子送付とお礼状書き	1
1月30日	金	活動の方向性「社会貢献」の提案。ジャンルの提案 3人の講演の振り返りとそのまとめ。課題発見のウェビングなど	2
2月2日	月	家庭学習期間の活動の準備	2
2／3～8	火	地域の「ボランティアセンター」などの訪問。調査活動	4
2月17日	火	代表発表（16人）。取り組みたい内容や方向性を見つけ出そう1	2
2月24日	水	取り組みたい内容や方向性を見つけだそう2。ジャンル別に個人の想定した「ビジョン・ミッション・ゴール」発表，仮グループ（2～4人）	2
3月5日	金	活動の見通しを立てよう。テーマ決定と明確なゴールの設定。	2
3月9日	金	全体場で，各ジャンルの総合担当者より，各プロジェクトに対するアドバイスなどを発表。プロジェクトの再考。	2
3月19日	月	各グループ活動	2
3月～5月	金	グループ毎の計画に応じて活動。 春休み。土日。放課後，朝など。	4
4月20日	火	活動経過の中間評価，とプレゼンまでの見通したて	1
4月28日	水	グループ活動	1
4月30日	金	グループ活動の継続	1
5月18日	火	活動のプレゼン計画，まとめに向けて	1
		総 計	34

III 学習の資料

使用した資料の一部を日程にしたがって提示したい。

1. 資料

1) 第一回のガイダンス資料の一部

今年の総合的な学習の時間の見通し

2003.11.18

本校の総合的な学習は、大きく2つの柱で構成されています。総合Ⅰは、学年で取り組む、協同的な学習で、総合Ⅱは、個別課題を3年間にわたって追究する「自主研究」です。

それぞれの活動目的と、テーマは表の通りです。第1学年で取り組んだ内容を思い出してみましょう。

	総合Ⅰ 協同学習による課題解決	総合Ⅱ 個別課題の探究学習 自主研究
目的	自分たちが生きていく社会のニーズと自分たちの興味・関心に応じたテーマを見つけ、人や社会と関わり、創造的に未来を生きていく力を身につける。 目的に向かって、必要な情報を集め、教科や様々な場での学びを活かし、確かな個に支えられたグループ活動を通して、触発しあい、知恵や工夫を尽くして課題解決に向かってチャレンジする。	探究方法を学びながら、2年半にわたる個人研究を継続する。 自分にとって意味ある課題を見つけ、意欲的に課題を追究する。課題にあった探究方法を選び、必要な情報を集め、教科やさまざまな場での学びを活かし、計画的に研究を進める。研究内容を効果的にまとめ、工夫して発表する。
テーマ	①「共生（多文化共生）」をキーワードに、学年の目標や生徒の実態、生徒の希望を生かしながら設定する。 ② 学年行事の目的・内容などとリンクして、テーマを設定する。	① 個々の生徒の興味・関心を大切に、個人テーマを設定する。 ② 探究のために必要なスキルの学習も、研究の進行に合わせて行う。
1 学期	①生徒祭総合（17時間） クラス単位で行う生徒祭展示に向けての、プロジェクト活動 ゴールの設定。計画と分担。小グループ	①入門期 PCオリエンテーション（6時間） 自主研究に向けてスキルアップ（14時間） Aインタビューアンケート実習 Bポートフォリオ実習 Cグラフや表計算実習 D施設利用学習 施設調べとポスター発表（4時間）
2 学期	活動の企画と進行。展示・発表	
3 学期	②「どうする日本」（27時間） 日本を外から見てみると、何を求められているのだろう。中学生ができることはなんだろう。 総合学習が係を中心としたジャンル別、小グループ単位で行う研究と活動。	②自主研究（18時間） 各自の課題を追究 自分の興味あるテーマの発見 各分野に分かれての自主研究活動 発表とまとめ
2 年前	①那須林間学校総合（23時間） （教科クロス13 総計10） 5～7月 環境の日、登山の日、班活動の日、奉仕の日、という4つのテーマを持った林間学校に向けての活動。	①自主研究（18時間） 各自の課題を追究 本研究
後 期	② タイトル未定 （27時間） 多文化（共生）を大きなテーマとしたプロジェクト活動	②自主研究（18時間） 研究の継続 発表（ポスターセッションの予定）
3 前期	①2年次の続き（X時間）	①自主研究（18時間）
後 期	②卒業に向けた総合的な学習の時間（67-X-Y）	②自主研究集録作り（Y時間）

今日のプリントは、ファイルを配るまで大切にしておいて下さい。

2年生の後期から3年生にかけての「総合Ⅰ」先生達より

03.11.18

1. 多文化共生

多文化教育の視点……「皆違って当然」とそれぞれの「ちがい」を前提としてお互いの理解を図り、差別や偏見をなくし公正で平等な生き方を学び、そして、社会に働きかけられる力をつけよう。

- 1) 自分との共生…自分（自国）をもっと知ろう
- 2) 人との共生……様々な違いを見つけ、その違いを認め合い、おたがいを理解し、共に生きる社会を作ろうと行動できる力を身につけよう
- 3) 環境との共生…身近な環境や世界の環境、広い視野から環境との共生を考えて、行動できる力を身につけよう

2. どんなところからスタートしようか

本当にその分野の第一線で活動している人と出会って、問題点や、夢を見つけ出して欲しい。

3. 活動は。

1年次に学んだことを生かして、プロジェクトを打ち出そう。単なるリサーチに終わらず、行動に結びつけよう。3年生の1学期までじっくり取り組もう。

4. そして、ゴールは。

みんなの願いを叶えるために、社会に働きかけよう。

どんなプレゼンをしたら楽しいか考えてみよう。

みんなの主張をPRする番組制作などで提案できる？・・それとも別の方法？提案先は？

2年 組（ ）氏名

1. 多文化共生という大テーマから、今回は、こんなことをしてみたい

2. こんな人のお話を聞きたい

3. 活動や発表のアイデアその他

4. 総合学習をリードする係になりたいですか？（今の気持でOK。後日、また聞きます）

はい いいえ 学習の内容による

2) 総合学習係による、秋山正子さんの講演まとめの一部

秋山さんには、VTRなどを用い、在宅ホスピスケアの紹介を通じて、最後まで自分らしく生きるということはどういうことなのかを講演していただいた。係生徒が講演の後で、その記録と、生徒からでた意見の集約などを便りとして発行した。その中から係の感想を抜粋した。

係りより... 意見 秋山さんのお話を聞いて 感想

僕は総合学習係の長として今回の秋山さんのお話をみんなには死についてと生き方について本気になって、考えてほしいと思、ていま、それとみんなからの感想を見ていましたら、「輝き」「死に方」「生かす」「それと自分なりに着眼点をおいて、自分なりに意見を持たせよう」とでなく、自分の問題として考えていて大変よかったです。それだけで「はじめて、自分達にできることを見つけて、それを実行する上が」大切なことで、みんなには、これより、そうい、たことについて、考えてほしいと思、ています。僕も長として、みんなに実行できる場をつくりにい、と思っています。

長：[黒]

在宅ホスピスを受ける人は、とても体の具合の悪い方だと思、うので、私達が直接介護するのは、むずかしいこと、です。でも秋山さんのお話を聞いたからこそ、出た意見だから、在宅ホスピスを体験したい、というのは、根本において活動していか、たいな思、っています(20)

副長：[黒]

初めてコミュニケーション係としてや、てみて、いろいろ敬語、姿勢、などをしかりとやらなければなら、なかつた、ので、こうきん、なつた、秋山さんのお話を今後のために、な、と思、います。

コミュニケーション：[黒]

秋山さんに話をし、てい、た、で、みんなの感想、意見を秋山さん、と、これより、交流して、い、て、あ、と、た、く、さん、ホスピスについて、知、り、た、い、と思、った。

コミュニケーション：[黒]

最後まで自分らしく生きるためには、在宅ホスピスのような機関がある事を世間に広めることが必要だ、という意見が多、く、あ、り、ま、し、た、で、在宅ホスピスについてのパンフレットやポスターを作成する、とい、う、の、が、自、分、ら、し、く、生、き、る、社、会、を、作、る、た、め、に、一、番、取、組、ま、し、つ、つ、や、れ、る、事、な、の、を、い、え、な、い、で、し、よう、す。

書記：[黒]

私達は先日、秋山さんのお話を聞いて、「自分らしく生きる」というのは大変な事だな、と思、いました。死の間際にも、あ、あ、や、っ、て、笑、っ、て、い、ら、れ、た、ら、い、い、と、思、い、ま、す。皆、が、話、し、合、っ、て、く、れ、た、一、番、と、2番の内容は、授業の一環としてだけでなく社会全体の問題、な、の、で、さ、ま、ざ、ま、な、交、流、を、持、ち、た、い、で、す。

書記：[黒]

残りわずか人生なのに、最後まで友情を大切に、し、最、期、ま、で、自、分、の、こ、と、は、自、分、で、す、と、い、う、考、え、に、感、動、し、た。

広報：[黒]

在宅ホスピスの仕事は、必要としている人にと、て、と、れ、た、け、生、き、な、希、望、に、な、っ、て、い、る、の、を、い、く、分、か、ら、な、い、秋山さんと会、え、て、あ、い、た、い、と思、います。

広報：[黒]

私は先日秋山さんの「在宅ホスピス」についてお話を聞いて、将来この職業につきたいと思、いました。今、簡単、に、お、り、た、い、と、い、う、で、も、そ、う、い、う、の、こ、と、は、い、い、と、思、い、ま、す、が、20歳で、い、ま、な、つ、た、い、い、き、の、よ、り、に、それまでの生活をみて、と、も、い、い、き、い、い、と、思、い、ま、す。このように、重い病氣にか、か、わ、て、し、ま、い、た、後、の、人、生、を、案、じ、く、幸、せ、に、生、き、て、ま、う、い、た、い、と、思、い、た、の、で、入、る、を、い、け、な、い、事、に、つ、き、た、い、と、思、い、ま、す。

広報：[黒]

★広報★ [黒]

3) 総合学習係による、佐藤真久さんの講演のまとめの一部

佐藤さんには、アジア太平洋地域の環境問題の現状を、自身の撮影による映像により紹介し、また、中学生時代にやってきたことと今の活動のつながりについて講演していただいた。

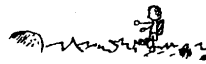
① 〈記録〉

12月16日(火) 佐藤 真久さん

■ アジアの太平洋地域の環境問題に対する戦略研究等をなさっている。

① 地球環境問題について

- ・ 木が枯れていっている→酸性雨の問題
- ・ トキは今年10月に全滅。オラウータンも森林伐採により減少
→生物多様性の減少・森林伐採の問題
- ・ 水が足りない・水がヒ素で汚染されているため、川の中に井戸がある。→水問題
- ・ ゴミが多い。そして、ゴミ捨て場で裸足で歩いている子供がいる。(それを収入源に)
→ゴミの問題
- ・ 見渡す限りビルで緑がない
→都市問題



他にも様々な問題がある。そしてこれらの問題は複雑に絡み合っている。



各国の現状

- 先進国→ 「豊かさ」の影で(「豊さ」ゆえに) 環境破壊が進んでいる。
発展途上国→ 「貧困」の影で(「貧困」がゆえに) 環境破壊が進んでいる。

これらの解決に向けて、

社会・科学・人文科学・コミュニケーション・意思決定・技術と管理



など沢山の視点をくっつけて考えていく事が大切。

そして、上のような(社会・科学 etc) 環境改善の要素は、お茶中でも十分身につける練習ができる。 例えば・・・

- 「環境改善に向けての要素」と「お茶中 life」の接点—
- 体育・・・ダンス等で一種の「表現の仕方」を学べる。
- 数学・・・物事を整理して論理的に話す練習ができる。
- 英語・・・「論理的な思考」の練習ができる。「コミュニケーションの仕方」を学べる。
- 生徒会・評議会・・・物事を決めていく「意思決定の仕方」を学べる。
- 国語・先生・先輩・・・礼儀・挨拶等、多くの年齢層の人との交流の仕方を学べる。



未来につながる
お茶中にも!

4) 総合学習係による、前田美智子さんの講演のまとめの一部

前田美智子さんには、JAICA での活動の中で幼児教育に対する支援について、映像を通して紹介していただき、国際理解についての講演をしていただいた。

1月20日 (火) 前田 美智子さんのお話
■ JICA (Japan International Corporation Asians) について

☆ JICA とは...?
JICA は、青年海外協力隊を開発途上国に派遣している国際協力機構です。
世界中の開発途上国で様々なボランティアを提供しています。

☆ 開発途上国
開発途上国は、世界に190余りある国々の中の80%を占めています。
主にアジア、アフリカ、中南米等にありま。そこでは様々な問題が生じていて、それを解消するために JICA 等の組織が協力しに行っています。開発途上国の問題点として、

- 1) 工業の未発達 一農村中心の社会の為、収入が低く貧しい人々が増加しています。
- 2) 人口の増加 一人手不足の為子供が働き手となるので人口が増加し、食糧難に陥ってしまう。
- 3) 女性の地位が低い 就学・識字率が低く、保険、衛生の知識が得られない為子供の死亡率が高い。
- 4) 子供の就学率が低い
- 5) 安全で衛生的な水の確保が難しい
- 6) 民族紛争等による難民の増加

■ 前田さんのお仕事

☆ 青年海外協力隊と開発途上国の幼稚園
幼稚園を作りたくても施設も先生も無い。JICA の青年海外協力隊の支援で開園する。

☆ 各国の幼稚園の状況
ヴァヌアツ...15歳の少女が先生。→先生と園児を同時に指導する。

英語とフランス語を両方教える。

ポリビア ...玩具が無いので石を積みながら園児と話している。

フィリピン...ヤシ、等で小屋を作りそこで教育する。

スリランカ...寺子屋幼稚園。食事は手で食べるので不衛生。

■ 青年海外協力隊

☆ 協力隊ってどんな人?

経験が多く健康で、世界中の子供達に愛情を持っている人。又、実際に様々な技術を持っていて、我慢強く責任感のある人で人と仲良く出来る人になることが出来ます。(もちろんテストの様な事もあります。)

☆ 5つの“あ”
愛、誠、勇気、明るさ、笑顔で、後に引かない。



総合学習の 雑談 (ザツダン)

☆ 1月20日前田さんのお話を聞いて、係からの感想コーナー☆

今回は前田さんが国際協力というテーマで「青年海外協力隊についてお話を下さいました。その中で様々な発展途上国の幼児教育の様子を説明してくれました。お話を聞いて、国際理解を深めたいと思います。3回の総合学習でみなさんは、秋山さん、佐藤さん、前田さんの3人の3人の話を聞きました。在宅ホスト、環境、発展途上国について学びました。みなさんは今回の学習でどんなことができたのか考えられたいでしょうか。是非、この貴重な3回の講演を今後の総合学習に役立ててもらいたいです。2R → 3R

今回は実際に現地へ行って助けたという方にお話を聞くと、できず、ボランティアの内容まで深い内容の話でした。きっと私達が活動するの役に立つでしょう。忘れないうちにメモに残しておきたいです。2R → 3R

「自分の国だけでなく他国にも目を向け、困っている人を助けたい」という言葉が心に響きました。お茶やの目標でもめたい。想像力を何事に対しても持つことが大切であるという事が皆さんにもよく理解してもらえたと思います。今回自分達が知らない、世界をよく知ることができました。今までの話を是非有効に活用し、より楽しく総合学習を進めていきましょ。2R → 3R

今回の話を聞いて国際協力の大切さを再認識しました。水も飲めないなんて可哀想だと思います。青年海外協力隊の人頑張ってください。2R → 3R

次のページは前回の話を書記の人がまとめてくれたものですの
と読んで下さい!!!

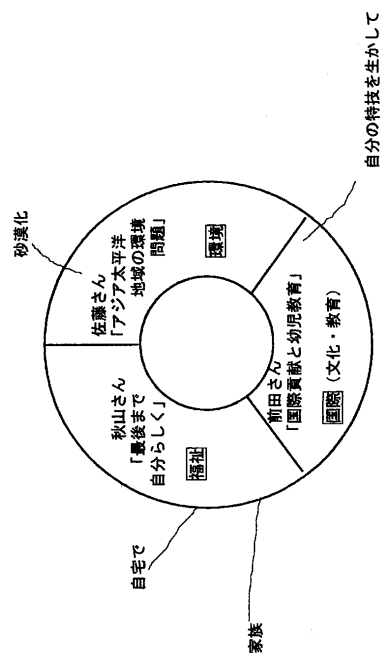
5) 各自の課題発見のための作業シート

3人の講師の話スタートに、各自の課題意識を掘り起こそうと試みた。

2004.1.30

2年生「総合的な学習の時間」 3つのお話を振り返って

1. 自分の書いたコメントのプリントなどを参照し、キーワードをできる限りたくさん出して（それぞれ20個以上）、書き込んでみよう。
2. 3つの事例の共通点はなんだろう。中心のOの中に書き込んでみよう * クラスで話し合って、いくつかに絞ってみよう。



2年 組 ()

6) 自分の地域の「ボランティアセンター」で学ぶための作業シートの一部

中学生ができる社会貢献という方向性を見だし、そのための学習の一步として、各自の地域にあるボランティアセンターを訪問することを提案した。

家庭学習期間中の総合的な学習

2004.2.2

目的:総合的な学習の時間の講師の方からいただいた内容や自分の興味に応じて、中学生として今後どんな社会貢献活動ができるだろう。よりよい活動のための基礎としてボランティアについて学んでこよう。

宿題:入試期間の家庭学習のうち、1日を選んで、各地域のボランティアセンターまたはその他の施設に出かけて、自分の必要な情報(内容や連絡先など)を得てきましょう。

ボランティアセンター以外の場所に行くときは、安心できる機関であるのか保護者の方に相談して下さい。

課題:次のような例があります。

- ①ボランティア活動全般についてまず知る
- ②関心のあるボランティア(環境、福祉、教育他)についてどんな内容があるのか知る
- ③関心のあるボランティアについてどんな団体が活動しているのか知る
- ④ボランティアセンターがどのような役割を果たしているのかを知る
- ⑤現在募集しているボランティアにはどのようなものがあるのか知る
- ⑥中学生ができるボランティアにはどのようなものがあるのか知る
- ⑦ボランティア研修会をいつ、どのような形で行っているのか知る
- ⑧その他、自分なりの課題

条件:

- 1)ひとりあるいは家族の方と出かけてみて下さい。
- 2)原則として自分の住む地域。人数が多い区は、東京都全体のセンター↓もお勧め
 施設名 東京ボランティア・市民活動センター(TVAC)
 住所 東京都新宿区神楽河岸1-1セントラルプラザ10階 03-3235-1171
 URL <http://www.tvac.or.jp/>

持ち物:黄色いファイルとA4の別紙記録用紙、レポート用紙など。筆記用具。身分証明書・生徒手帳

課題の提出:2月9日(月)朝礼

注意:施設の方に迷惑をかけない。制服で行くこと。

参考①「2年生の人数」

千代田区5 中央区2 港区5 台東区4 文京区33 北区3 荒川区1 足立区1
 葛飾区2 江戸川区1 江東区5 品川区1 渋谷区2 目黒区3 世田谷区10
 新宿区6 中野区6 杉並区8 豊島区23 板橋区2 練馬区11 調布市1
 小平市1 西東京市1 市川市1 浦安市1

参考② あらかじめ、次のようなHPを見てから出かけるとイメージができるでしょう。

ただし、ネットだけで情報を得ず必ずセンターに足を運んで下さいね。

ボランティアセンター訪問記…各区のセンターの様子を訪ねた人のHP

<http://www.geocities.co.jp/BeautyCare/8655/Volunteercenter.html>

東京ボランティア・市民活動センター…たくさんの情報を公開しています

<http://www.tvac.or.jp/>

ボランティアの種…学校の総合学習の時間にボランティアを学んだ人がつくったHP

<http://3friends.ktplan.net/>

その他、いろいろ検索してみてください。

「ボランティアセンター」(またはその他の施設)を訪ねてみよう

事前記入

私の課題

中学生が出来る国際ボランティアにはどのようなものがあるのか。

訪問予定の場所と、連絡先、行き方等

文京区 区民センター 4F 文京区社会福祉協議会ボランティアセンター

30分徒歩。(または、有明から春日駅まで三田線で行く。)

記録

2月(6)日(金)曜 訪問時間(11:40 ~ 3:05)

国際ボランティアとして活動している団体は沢山ある。

etc. ヨアノーシ {南アフリカの貧しい人々の生活上の問題解決に向けた活動を、現地および日本国内で行っている。
バトミ子供基金 「バトミ児童養育会」に協力。貧しい家庭の自衛心のある子供が勉強できる様に活動を行っている。
タボ・ア・ホセ・バタガ {森林減少の続く東アフリカのタンザニアで、村人たちが取り組んでいる植林活動を支援している非営利団体。

国際ボランティアというと「実際に外国に行ったり、お金を寄付したりする」というイメージがある。

- 実際に外国に行き、その土地で活動する
- 団体を通して、物を寄付する
- 団体を通して、お金を寄付する

そうしかし他にも
沢山あった!!

- ① 活動している団体の所をおとずれて、パンフレットを折ったりする。
- ② パンフレットを配る。
- ③ フェアトレードの商品を買う。
- ④ イベントの企画営業、会報発送
- ⑤ 外国人の方に、日本語を教える。
- ⑥ 活動している団体のことを知り人に伝える。

→ 中学生が出来ると思うもの。

☆中学生は、だいたいのことは何でも出来る。

国際ボランティアというと、懐かしいお金を取り返したり、お金をかけて海外へ行くというイメージが私の中にはあったが、身近に出来るボランティアを知ることができた。

例えば

- 活動している団体の所へ行き、パンフレットを折ったりする。

- パンフレットを配る。

- 団体を通して物を寄付する。
お金

→ 日にちがあて、行く機会がもてれば、とてもいい国際ボランティアだと思う。

★ どういう人の所へいき、何のために使われるか。また、団体がどんな活動をしているかを調べておく方がいい。いつまでに、何に入れて、どこに送るかを知れば、意外と簡単に出来ると思う。

書ききれないときは別紙に。資料をいただいたときはファイルに入れよう。

2年 組 番 氏名

山崎 大樹

「ボランティアセンター」(またはその他の施設)を訪ねてみよう

事前記入

私の課題

- ボランティアセンターの果たす役割について。
- 大塚区のボランティア活動がどのようなものがあるのか。
- 使用済み切手の有効利用。演奏に関するボランティア。

訪問予定の場所と、連絡先、行き方等

大塚区民センター4階「大塚ボランティア・市民活動センター」

〒113-0033 大塚区本郷4-15-14 3812-3114 丸の内線後楽園から徒歩3分

記録

2月(6)日(金)曜 訪問時間(15:00 ~ 16:00)

Q. ボランティアセンターの果たす役割を教えてください。

A. 大きな役割としては、「やりたい人」と「ほしい人」をつなげる」という事です。

その人の性格なども考慮する。主な仕事の内容は、

- 1 ボランティアに関する相談。個人などとしてほしい、という希望や、初めての方の相談を受ける。
- 2 ボランティアコーディネーター。やりたい人と、ほしい人をつなげ、具体的な活動の紹介と相談。
- 3 器材、場所貸し出し。会合の場を提供したり、器材や図書貸し出しをやっていきます。
- 4 啓発・学習。講習会の開催や広報誌の発行、自由な方のための朗読を行います。
- 5 調査活動。ニーズを求めているもの調査をします。
- 6 使用済み切手や使用済みリコーダーの受付
- 7 ボランティア保険の受付

Q. 大塚区のボランティアはどのようなものがありますか。

A. こちらのグループ一覧を見て下さい。(資料1)朗読や点訳、切手グループなど様々なものがあります。あとは、毎月発行される「どうじん」のニュースにもやりたい人のための掲示板やボランティア募集や情報などがのっているのを見てみて下さい。(資料2)

Q. 私は使用済み切手の有効利用に関心があり、中学生としてはどんな事ができますか。また他に中学生が出来るボランティアにはどのようなものがありますか。

A. 切手やカードは学校が集めたりすると、かなりの枚数が集まると思います。ですから、中学生としてやるボランティアは一番やりやすいと思います。

仕組みは、古切手や使用済みカードは、頂いたらボランティアセンターから「切手グループ」というボランティアグループに渡し、それをグループが業者へ売り、その収益を区内福祉施設に寄付しています。平成14年は、エコーハウス、山崎実習所、ふどらの家に各5万内訳で寄付しました。

中学生の皆さんは忙しいから、単発の手伝いは、老人ホームの遠足に付き合ったりするのがいいと思います。また、夏休みには区民施設や児童館に行き、実際に体験するという企画をしているので、(時間があったら)やってみて下さい。

いやいや、でもボランティアは長期ですもん。ボランティアは自発的なもので、楽にやる事が基本です。また自分以外、分野のものを探してみてもいい。ボランティアは自由なものですが、学生さんの中には、自分勝手にやっていると人達に迷惑する人がいますが、自由というのは責任を果たした方がいい事だから気をつけて下さい。

Q. 環境に関するボランティアにはどのようなものがありますか。

A. コミの再利用や自然保護など様々です。

書ききれないときは別紙に。資料をいただいたときはファイルに入れよう。(8月16日)

2年 組 番 氏名

総合的な学習2年生「自分が取り組みたい内容や方向を見つけ出そう」

2004.2.17

②社会(世界のこと・身近なこと)の問題点

①ボランティアということから

ボランティアセンター等で調べ、一番心に残ったこと	他の人の発表をきいて心に残ったこと	3人の講演から心に残ったこと (1/30日のプリント参照)	先生の話から心に残ったこと

③自分の今日の気持

ビジョン…夢 何年か後にこうあったらいいなあとという未来	ミッション:意志 誰のため、または何のためにするのか
ゴール 具体的なゴール: ビジョンやミッションをかなえるためどういうプロジェクトをしたいのか 今日是一つにしぼらなくてもよい。思いつかなくてもよい。こんなことというイメージで良い。	

例えば

ビジョン 「私たちの町を快適で暮らしやすい町にしよう」
 ミッション 「お年寄りが楽しく安全な町にしよう」
 ゴール 「お店や公園がわかるバリアフリーマップ完成し配布」
 ビジョン 「戦いに悩む子どもにも夢を」
 ミッション 「小さな子どもたちの楽しみを贈る」
 ゴール 「学年のメンバーに呼びかけ絵本を集めて送る」

ビジョン 「エイズから多くの人の命を守る」
 ミッション 「中学生にエイズの知識を広めたい」
 ゴール 「パンフレット作りと中学内で宣伝活動をする」

2年 組 ()

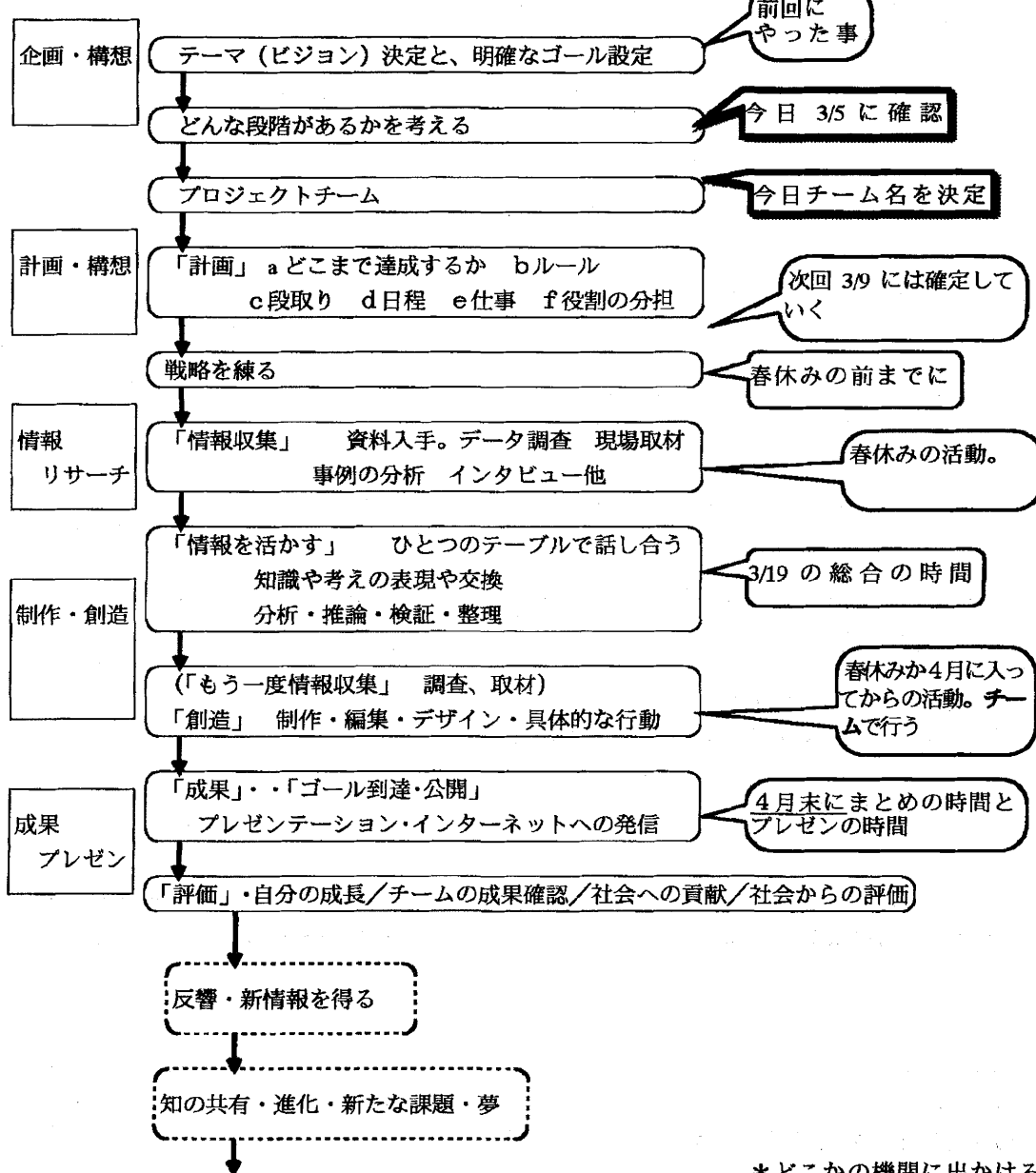
8) テーマ決定とグループでのディスカッションシート

個人の見通しを発表しあった後、ともに活動できる仲間とグループを組んでみた（2／24）。その後、今後の全体の進め方をみて、チームの見通しを立ててみた（3／5）。

総合学習

2004.3.5

今日は、チームの活動の見通しを立てましょう。



*どこかの機関に出かける時には、学校に届け出をする必要があります。

2年 組 ()

総合学習活動の見通し

2年 組 ()

2004.3.5

今日は、チームの活動の見通しを立てましょう。

企画・構想

テーマ(ビジョン)決定と、明確なゴール設定

どんな段階があるかを考える

夢(ビジョン)に対してふさわしいミッション・ゴールを設定できているのかももう一度検討しよう。
ここがうまくないと、意味の少ないプロジェクトになってしまう。

- ・それは自分の満足だけでなく、社会のために役立つことにつながりそうか
- ・3月までの活動のそれぞれの段階にやるべき事が思い浮かぶか
- ・人に迷惑をかけたり、失礼なことになる可能性はないか
- ・何か学校や大人の許可や手続きが必要なことはありそうか

*自分たちのチームのゴールを修正する必要があるか。あれば、修正してここに書こう

プロジェクトチーム

プロジェクトチーム名をつけよう

条件: プロジェクトの内容を表すチーム名であること

チーム名の案をメモ

最終決定のプロジェクトチーム名

メンバー(リーダーに○)

総合学習係と担当の先生からのコメント

*このシートがしっかりできたチームは、来週することを考え始めてもよい。

9) 他のグループのプロジェクトと情報交換し、自分のチームの予定を立てる

② 連絡すべきところ
荒谷区、新宿区の老人ホーム、

③ 調べるべきこと
・老人ホームの介護について、
・老人ホームの場所

上の準備活動についてメンバーの役割分担

氏名	役割
■■■■	老人ホームの場所
■■■■	
■■■■	老人ホームの介護について、
■■■■	

次回(2年生最終の総合 3/19の総カリ 1時間分)すること

老人ホームに連絡
お互い調べてきたことを交換する

次回までしておくこと

老人ホームの介護について、
老人ホームの場所

総合学習係と担当の先生から

活動を許可します ・ 条件付きで許可します ・ 活動できません
+日時(4/8×以降) 荒谷サポーター活動
正式名称と連絡先を
知らせたい

2004.3.9

第2学年 総合的な学習

学年のみんなはどんなプロジェクトを立ち上げたのか。自分のところの課題は？

1. 各ジャンルの代表から様子をきこう

自分のプロジェクトに対するアドバイスは何でしたか。

ボランティアさせていただけなのか、把握する。

*アドバイスにもとづいて、全員、前回のプリント「総合学習活動の見直し」を書き直し、
前回出した代表者のものを再提出する。再提出が終わった班は、次の活動に移る。

2. あらためて

プロジェクトチーム名 老人サポーター隊	
メンバー 長にO 菅原直佳、豊田有紗、神林杏子、和田佳子	
ビジョン 夢にうつつあったらいいなという未来 老人が快適にくらせるように、	
ミッション 意志：誰のまたは何のため	
ゴール 高齢者のため	
具体的な活動内容：ビジョンミッションをかなえるためにどんなプロジェクトをするか 老人ホームに行き、老人のサポートをする。	

3. 今日活動した内容・調べたこと・話し合ったことの記録 (代表者のものを出して下さい)

活動日時をいつにするか

3/21~4/7までのどれか

連絡を取るべきところはどこか。

荒谷区、新宿区の中の老人ホームに連絡をとる、

活動までに準備すべきことは何か。

① 用意するもの・作るもの

とくになし

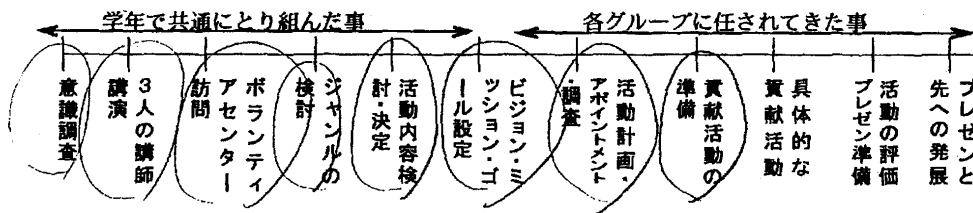
10) 活動の中間評価と今後の見通しを立てるシート

かなりの程度生徒に任されて進めていたことにより、グループによって進度が違ってきた。ここで、自分たちの活動の経過を振り返り今後の見通しを立てたり、計画の見直しをした。また、同じジャンルのほかの仲間がどのように進めているかについて、発表しあった。

また、お互いの活動の内容を共有したり、発信しあうためにプレゼンを計画する。一律のプレゼンでなく、それぞれの目的や活動にあったプレゼンができるよう選択肢を考えた。

総合 4/20 グループ提出用紙

下の活動経過のところで、終わった所を丸で囲んでみよう。



A すすみ具合
川原 言

B 内容の深さ (少なくとも1年の時よりもバージョンアップしているか)
団体と直接関係して、まちゃんと中身がわかる。

C 誠実度 (お世話になる人へのマナー、手続き、担当の先生との十分な相談)
先生とはまちゃんと活動内容について話しているし、JHPとは電話などで現在、残っている内容は、何ですか。しっかり接することか。まて。まて。
文具をJHPに渡す。まてめ (ポスター)。

今後の活動計画 総カリなどの日とその他の日を適宜入れて下さい

月 日	内 容
4/20	JHPに連絡して、23日にアポイントメントをとる
4/21	中休み、昼休み、放課後 → 集めた絵の具分類
4/23	集めた文具を持っていき、JHPのポスターもらう。 (郵送かも)
4/28 ~ 5/18	まてめに入る。(ポスターにいたづらしたポスターを活動中の写真を貼る) (デジカメ)

それぞれ第一希望に◎ 第2希望に○をつけてください。

①プレゼン方法

◎ポスター バンフ、口頭、VTR

②プレゼン時期

5月中旬 5月下旬 6月上旬

③プレゼン対象

◎学年、◎全校 希望者 (休み時間に通りすがりの人やあらかじめ募集する)

ジャンル (国際)

グループ名 (カンボジアの子供を助ける隊)

メンバー (リーダー



2. グループと主な内容

第3学年 「中学生の社会貢献」 参加グループとプレゼン一覧表

* 本紀要では氏名の代わりに人数を記す

通no	グループ名	メンバー	主なビジョン	プレゼン	備考
1	福祉 山吹の里	5人	自分たちの街を快適にする(老人、障害者)	ポスター	○
2	HAPPINESS	2人	快適で暮らしやすい社会(老人)	パンフレット	6/22
3	アニマルエクスペリメンツ	3人	動物への扱いの差別やむだな殺戮の削減、動物たちに明るい世界を感じてもらおう	クラスに掲示 ポスターとパネル	○
4	特命治安維持班	3人	犯罪なき社会、犯罪を許さない社会	ポスター	未 7/20 予定
5	未定	2人	パレスチナが平和になること	口頭	7/9
6	ビギンの音楽隊	4人	たくさんの人に楽しみ、喜びを	パンフレット	朝カリ武道場 未
7	prejudice & Discrimination	5人	人を差別の目で見ない世の中、偏見のない世の中	ポスター	展示遅れ 一斉プレゼンは○
8	老人サポート隊	4人	老人が快適に暮らせるように	ポスター	○
9	JUST SAY "NO" TO DRUG	2人	麻薬のない世の中が出来てほしいなア	パンフレット	6/28
10	自分らしい一生を!	3人	たくさんの方が在宅ホスピスを愛してほしい	個人に配布? 口頭	放送朝礼で宣伝 7/2
11	教育 人生を楽しもう	4人	皆と一緒に遊べるような楽しい社会。精神的ショックを受けて自分を表に出せない子供達への手助けをしたい	VTR	6/11 昼の放送
12	Hppiness for the children Let's make the good time ☆~with children~	3人	子ども達が明るく過ごせる社会。	ポスター	○
13		3人	子ども達に豊かな心を育み、明るく過ごしてもらいたい。	ポスター	○
14	Let's go to school !!	3人	引きこもりや不登校がなくなり、楽しく生活を送ってもらいたい。	パンフレット	6/29
15	YAMATONADESIKO が 贈る大和魂	4人	子ども達が日本を好きになるように日本文化を知らせたい。	クラスに掲示	一斉プレゼンの前に宣伝
16	l'hospital enfant (ロピタル・エンクァント)	2人	入院中の子どもにも楽しい時間を過ごしてもらいたい。	口頭	7/2
17	T, A, S, Y	4人	他国で生活してきた子に日本でも楽しい生活を送ってもらいたい。	ポスター	○
18	チルドレンジャー	3人	世界の子どもが楽しい毎日を過ごせるように	ポスター	遅れ
19	Bring up international children project	2人	日本の文化を大切にしつつ、外国の文化も認め合い、世界の人々とのつながりを深められる子どもを育てることに貢献する。児童館の意味	ポスター	一斉プレゼンは○
20	◎子	4人	子ども達が安全に楽しめる環境をつくる	ポスター	○
				口頭	6/25
					朝カリアリーナ

通no	グループ名	メンバー	主なビジョン	プレゼン	備考
21 国際	贈りたい!!(^.^)/	4人	世界の人々の生活環境をよくする	パンフレット	6/29 一斉プレゼンの前に宣伝
22	フェアトレード広報部	3人	自然国の人々が作ったものが、今よりも売れるようになり、自然国がすこしずつ自立していく	ポスター	○
23	アジアを結ぶ紐	4人	文化の差を乗り越えて平和に暮らせる世界	パンフレット	6/29に宣伝
24	ドレミファ♪絵本教室	3人	発展途上国の子どもにも夢と教育を	個人に配布	7/9朝カリで配布
25	募金だよ。全員集合!	3人	世界の難民が少しでも少なくなる	ポスター	○
26	タンザニアに緑を	3人	先進国と発展途上国の差を縮める	ポスター	未 7/15
27	KNH -子どもに希望を-	3人	貧しい子どもたちを助ける	パンフレット	6/25 朝カリで宣伝
28	No Japanese No Life	3人	日本の悪いイメージをなくしてもらおう	ポスター	○
29	Do for the world	4人	発展途上国の人々の生活環境の向上	パンフレット	6/29 一斉プレゼンの前に宣伝
30	Ask	4人	いつか発展途上国の人が幸せに、整った環境で暮らせるようになるため	ポスター	○
31	カンボジアの子供助け隊♪	3人	カンボジアがきちんと自立できるようにするために、充実した教育環境を作る。	ポスター	展示遅れ 現在展示中
32 環境	ゴミひろいクラブ	4人	駅をきれいにする	パンフレット	6/22 中間テスト後3限に宣伝
33	Don't throw away!!	2人	皆の環境への意識が高く、ゴミの少ない町にする!	クラス掲示	○
34	妄想部〜清掃五カ年計画〜	4人	ゴミ、無駄が減っていく	パンフレット	6/22 3限
35	A happy home environment	3人	環境について考えている町作り	クラス掲示	○
36	Planting	2人	少しでも多くの自然を残す	ポスター	7/2 朝カリアリーナ
37	ゴミをリサイクルYO×3の会	3人	無駄のない資源	ポスター	○
38	kanky(^.^).cleaning 娘。 @ocha.ac.jp	3人	他校からほめられalways快適なお茶中アリーナ	VTR	7/7 屋の放送
39	環境改善委員会	4人	緑を増やして環境をよくする	ポスター	○
40	社環(しゃか)	4人	江東区をきれいにする	ポスター	○
41	good(^.^)chachu.m@king. 亮	3人	学校を暮らしやすい環境にする	口頭	6/25 朝カリアリーナ
42	踊れ!Oっchan改装計画	4人	お茶中の環境を改善する	VTR	6/30 屋の放送
43	町てき!ピフォーアフター	3人	住みやすい町にする	口頭	6/11 朝カリ武道場

IV おわりに

現在、活動そのものを継続しているグループと、プレゼン準備や報告書作成を進めているグループが並行している。成果と、評価については、次年度紀要などで報告したいと考えている。また、本実践は、文部科学省の「『総合的な学習の時間』の充実に係る調査研究」(H15～16)の実践研究対象として、お茶の水女子大学の子ども発達センターと連携して進めてきたものである。おもに、教員がどのように「総合的な学習の時間」の教材を開発していくのかということに視点を当てた研究である。実際にセンターの研究員の方々が授業記録や総合学習系の会合、担任会議などに入り、時に応じてアドバイスや、講師の紹介などをしてくださった。お礼を申し上げたい。

注

- 1) 宮本他, 第1学年で取り組んだ総合的な学習の記録, お茶の水女子大学附属中学校紀要, 第32集, 2002

(文責 宮本乙女)

個の自立を支え、相互啓発を促すお茶の水中学校の総合的な学習

目的	総合Ⅰ 協同学習による課題解決	総合Ⅱ 個別課題の探究学習 自主研究
<p>自分たちが生きていく社会のニーズと自分たちの興味・関心に応じたテーマをみつけ、人や社会と関わり、創造的に未来を生きていく力を身につける。</p> <p>目的に向かって、必要な情報を集め、教科やさまざまな場での学びを活かし、確かな個に支えられたグループ活動を通して、触発しあい、知恵や工夫を尽くして課題解決に向かってチャレンジする。</p>	<p>自分たちが生きていく社会のニーズと自分たちの興味・関心に応じたテーマをみつけ、人や社会と関わり、創造的に未来を生きていく力を身につける。</p> <p>目的に向かって、必要な情報を集め、教科やさまざまな場での学びを活かし、確かな個に支えられたグループ活動を通して、触発しあい、知恵や工夫を尽くして課題解決に向かってチャレンジする。</p>	<p>探究方法を学びながら、2年半にわたる個人研究を継続する。</p> <p>自分にとって意味ある課題をみつけ、意欲的に課題を追究する。課題にあった探究方法を選び、必要な情報を集め、教科やさまざまな場での学びを活かし、計画的に研究を進める。研究内容を効果的にまとめ、工夫して発表する。</p>
テーマ	<p>① 「共生(多文化共生)」をキーワードに、学年の目標や生徒の実態、生徒の希望を生かしながら設定する。</p> <p>② 学年行事の目的・内容などとリンクして、テーマを設定する。</p>	<p>① 個々の生徒の興味・関心を大切に、個人テーマを設定する。</p> <p>② 探究のために必要なスキルの学習も、研究の進行に合わせて行う。</p>
学習形態 *担当教員	<p>「共生(多文化共生)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小グループでの活動を積極的に組み込む ・企画運営に生徒が積極的に参画する。 ・できる限り、学校の外に出る活動を組み込む。 <p>「学年行事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス・個人・小グループなど活動内容によって検討する。 <p>*企画：学年担任団 学習支援：学年を中心とした教科担任</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の研究テーマや活動内容方法などに基づいて、13のジャンル別グループ分かれて、異学年合同で行う。 ・基本的に個人で研究を進めるが、グループ内でテーマについての相互ディスカッション、グループ内発表評価などの時間等も設定する。 ・各ジャンル別グループに担当教員がアドバイザーとして常駐。 ・メディアセンター、PC室に担当教員が常駐。 <p>*企画：研究部の自主研究担当教員 学習支援：全教員</p>
年間時数(45分)	<p>1年 44 2年 50 3年 67</p>	<p>1年 35 2年 35 3年 18</p> <p>+集中6</p>
学習スキル 主にスキルとして学ぶ場面	<p>テーマ設定・ゴール設計</p> <p>活動計画作成 インターネット検索</p> <p>フィードバック 文章表現法</p> <p>インタビュー メディアの活用</p> <p>対人コミュニケーション</p> <p>コラボレーション</p> <p>ブレインストーミング</p> <p>意見の対立と調整</p> <p>ポートフォリオ評価</p> <p>プレゼンテーション ポスターセッション</p> <p>OHP、模造紙、印刷物</p> <p>発信</p> <p>PC基礎</p> <p>図書館、資料館などの施設利用法</p> <p>アンケート調査</p> <p>観察記録 データ整理 数的処理</p> <p>自己評価・相互評価</p> <p>実験検証法</p>	<p>PC基礎</p> <p>図書館、資料館などの施設利用法</p> <p>アンケート調査</p> <p>観察記録 データ整理 数的処理</p> <p>自己評価・相互評価</p> <p>実験検証法</p>
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに応じて必要な段階で活用できるスキル学習を組み込む。 ・生徒が主体的に、活動計画を立て、修正し、進行する。 ・テーマとの関係や活動組織作りについては、教員が、設計をきちんとし、臨むことが重要。 ・テーマに応じて、教科のクロスカリキュラムを積極的に活用する。 ・大学との連携により、活動を充実発展することを視野に入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の発見から、研究の継続、発表までの流れを、前期後期の各サイクルで、スパイラルに進めるので、学習するスキルについて、取り立て指導を計画的に行う。 ・各テーマに特徴的なスキルは、グループ毎に個の研究進行に応じて担当教員が行う。